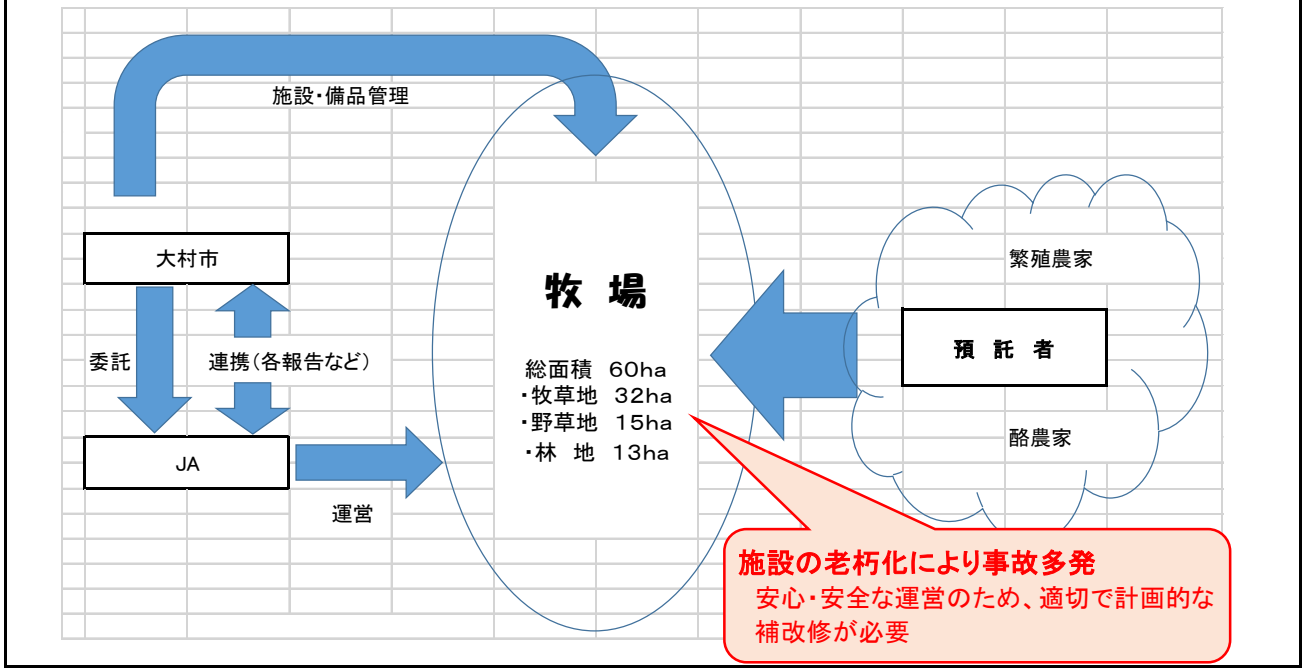


事業概要シート

施策	1304	畜産業の振興	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く
事業名	市営牧場維持管理事業		拡充	予算額 23,755 千円 《 20,672 》千円
事業期間	~		財源内訳	国庫支出金 千円
根拠法令要綱等	大村市牧場条例			県支出金 千円
				地方債 千円
				その他 3,989 千円
				一般財源 19,766 千円

【事業の目的・概要・対象】

- 放牧場の維持・管理運営を長崎県中央農業協同組合へ委託
 - ・委託内容：預託家畜の承認、放牧、飼育管理、運搬・引き渡し、放牧場の有害物の除去・害虫駆除、施設の維持・管理等
 - (その他) 病気又は負傷による治療のために要する経費、種付けに要する経費、購入濃厚飼料相当額、家畜の搬入及び搬出に要する経費を含む
 - ・預託料：市内農家；440円/日頭（内市分150円/日頭）、市外農家；460円/日頭（内市分170円/日頭）
 - 市にて管理する業務
 - ・牧場運搬車・トラクター等の機械の維持管理、建物・自動車損害共済保険
 - ・放牧場施設の補・改修工事等
- <今回要求の内容>
- 高良谷牧場牧柵改修工事 4,894千円
 - ・要求理由：施設の老朽化による牧柵の損壊の影響で、牧場外への脱走が頻繁に起こっており、R5年度は、実際に牛が骨折する事故が発生している。牧野等の牧柵の改修工事を計画的に実施する。
 - 高良谷牧場牛舎補・改修工事 284千円
 - ・要求理由：牛舎の老朽化により、支柱等が腐食した部分が多く台風等で倒壊の恐れがあるため、牛舎の改修工事を計画的に実施する。



【背景】

施設の老朽化が目立ち、令和元年度には深井戸の水中ポンプの故障等あり、その都度補改修等をして対応している状況である。

牧場は、自然に近い環境で放牧することで、健康な牛の飼育を意図しており、草地にて牧草を自家栽培することで、安全かつ安定した自家飼料の確保が可能となる。また、預託農家は、飼料給餌及び糞尿処理等に係る労働力を削減することができ、預託されていない牛の育成に労働力を集中することができる。

担当課	産業振興部農林水産振興課	課長	山田 充哉
担当者	関 将史	問合せ先	0957-53-4111 (内線253)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	1日平均の預託頭数	計画値	頭	77	73	73	73	73
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 4 (実績)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)
①	年間の預託頭数（延べ）	計画値	頭	28,059	26,645	26,645	26,645	26,645
②		計画値						

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	合計
事業費	0	17,666	22,428	23,755	23,755	23,755	111,359
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他		4,312	3,897	3,989	3,989	3,989	20,176
一般財源		13,354	18,531	19,766	19,766	19,766	91,183
人件費	0	1,604	1,600	1,600	1,600	1,600	8,003
職員(人)		0.22人	0.22人	0.22人	0.22人	0.22人	1.10人
時間外勤務(h)		2h	0h	0h	0h	0h	2h
会計年度任用職員(人)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	0	19,270	24,028	25,355	25,355	25,355	119,362

妥当性 (市の関与)	本市農業の主要品目であり、農業所得向上のための本取組を推進するためには適切な誘導や支援が必要である。
有効性 (施策貢献度)	中小規模の畜産経営者が牧場を活用することにより、コスト及び労力の軽減が図られ、経営の効率化・安定化に効果がある。
効率性 (コスト)	指定管理者制度の導入により、安定かつ効率的な牧場経営が行われている。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	一次評価のとおり